

第 11 回東南アジア教育大臣機構 SEAMEO-筑波大学シンポジウムを開催

第 11 回東南アジア教育大臣機構 SEAMEO-筑波大学シンポジウムが、筑波大学開学 50 周年記念の冠事業の一貫として令和 5 年 2 月 20 日から 22 日に開催されました。

文部科学省後援、主題 Technology and Values - Driven Transformation in Education の下、20 日の開会式では、BENTON Caroline Fern 副学長、Ethel Agnes Pascua-Valenzuela 事務局長、北山 浩士 国際課長が本会議の意義を述べられました。6 つのセッションが実施され、本学からは人間系から川口 純 准教授、磯田 正美 教授、医学系から大庭 良介 准教授、附属坂戸高校より吉田 賢一・建元 喜寿 先生が貢献し、野村 名可男 准教授がモデレータを務められました。

閉会式では主催組織教育開発国際協力研究センターCRICED 磯田センター長より、SEAMEO 及び3月で退任される Ethel 事務局長へのお礼の言葉が述べられました。事前参加登録者 15,305 名、終了時点での YouTube 視聴件数1日目 16,983 件、2日目 13,427 件、3日目 10,411 件と盛況の下、終了しました。昨年 of 第 10 回の年間視聴件数は 11 万件を超えました。終了時点の視聴件数では、今回の第 11 回シンポジウムが大幅に上回っています。



開会式にて本会議の意義を述べられる BENTON Caroline Fern 筑波大学副学長、Ethel Agnes Pascua-Valenzuela SEAMEO 事務局長、北山 浩士 文部科学省国際課長